

兵庫県内の失語症友の会活動状況実態調査 第1報

～兵庫県言語聴覚士会アンケートから見えるもの～



兵庫県言語聴覚士会

笹岡岳¹⁾ 石塚君予²⁾ 田中義之³⁾ 服巻陽子⁴⁾

- 1) ツカザキ病院 リハビリテーション科 2) 関西労災病院 中央リハビリテーション部
 3) 神戸総合医療専門学校 言語聴覚士科 4) 荻原みさき病院 リハビリテーション部

はじめに

兵庫県は、失語症友の会全国大会開催を予定している。今回、失語症当事者会に対するSTの関わりについて、会員対象にアンケート調査を行ったので報告する

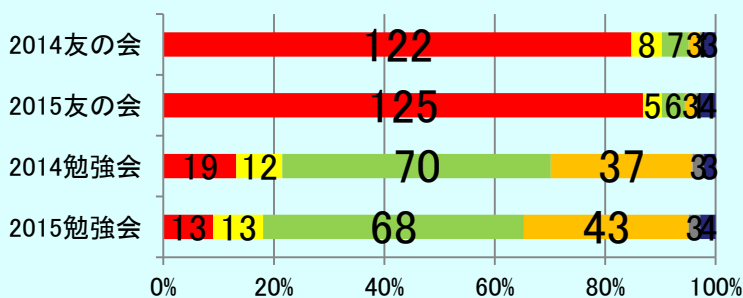
対象・方法

アンケート実施期間：2015年11月20日～12月28日
 対象：本研究の主旨に同意が得られた会員に、アンケート配布し、郵送、mail、faxで回収した

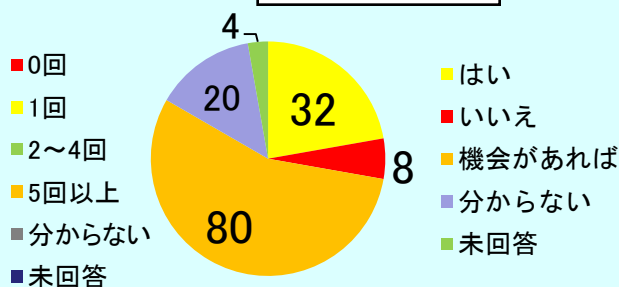
結果

有効回答数：144名（会員525名：回収率27%）。 性別：女性100名（69%）、男性44名（31%）
 年代：29歳以下 36名（25%）、30歳代 62名（43%）、40歳以上 45名（32%）
 対象領域（複数回答）：言語発達31名、失語・高次脳129名、聴覚障害14名、発声発語108名、摂食嚥下133名
 * 情報入手元：県士会から入手（86名）が多かった。次いで勤務先から入手（35名）が続いた
 * 広報活動について：適当（42%）、不足（19%）であった

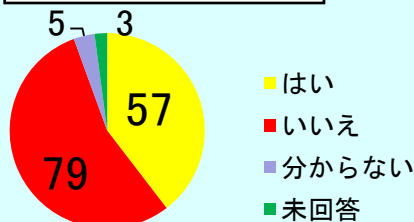
友の会・勉強会参加（2014年度、2015年度*12月まで）



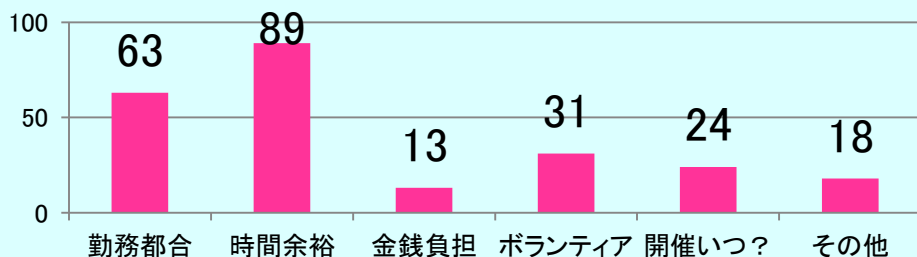
今後の参加希望



学生の時の参加状況



友の会参加の阻害因子（複数回答）



自由記載

《参加メリット》

・患者紹介ができる、患者・家族の生活イメージができる、自己研鑽になる、等

《参加方法》

・短時間、近郊、保育付きなら参加可能、患者紹介、広報（チラシ配布等）支援は可能、等

《県士会への要望》

・当事者会の一覧リスト作成（活動曜日、頻度、内容、人数、性別、年齢層等）、ホームページ作成およびフェイスブックやラインでの活動告知、友の会立ち上げ支援、等



活動写真

まとめ

アンケート結果から、参加希望の会員も一定数いるが、時間余裕、勤務都合、情報不足等で参加を躊躇している現状が浮かび上がった。STは地域包括での積極的な関わりを求められ、失語症当事者会は地域包括活動の一端を担っている。県士会として、STと当事者会との関わりを見直していく

今後

- ①当事者会、会員の交流機会を促す、
- ②ボランティア募集の方法を検討する、
- ③失語症友の会以外の当事者会についても関わり方を見直す、が課題と考えられた